

ASEAN グローバルプログラム に参加して

山中 寛太
Kanta YAMANAKA
電子情報学科 2年

1. はじめに

2018年8月28日から9月6日までの10日間、ベトナム、シンガポールでのASEAN グローバルプログラムに参加した。今回のプログラムに参加した主な目的としては、ベトナム企業訪問やベトナムでのPBL、ビジネスパーソンとの交流会などのプログラムを通して、これからの社会で必要とされるグローバルな人材になるにはどうすればよいのかということ、海外経験を持ち考え方やものの見方を広げることであった。プログラムの日程を以下に示す。

日程

| | |
|-------|-------------------|
| 8月28日 | ハノイ着、オリエンテーション |
| 8月29日 | 企業見学 |
| 8月30日 | PBL |
| 8月31日 | PBL 発表 |
| 9月1日 | ベトナム観光、自由時間 |
| 9月2日 | シンガポール着、企業訪問 |
| 9月3日 | 南洋理工大学見学 |
| 9月4日 | 企業訪問、ビジネスパーソンとの交流 |
| 9月5日 | 自由時間 |
| 9月6日 | 日本着 |

2. 参加目的

私は、これまで海外に行きたいと思っていたが実際に行動に移せずにいたため、今回このようなプログラムがあることを知り参加した。また、このプログラムに参加することで新たな経験ができ、成長できる機会にしたいと思った。私がこのプログラムに参加した目的は2つあった。1つ目は、このプログ

ラムに参加しているメンバーや現地の方々と積極的にコミュニケーションをとることである。いろんな人々と交流することで日常生活では得られない新たな経験ができると思ったためである。2つ目は、海外での生活はどのようなものかを知ることであった。今まで日本でしか生活をしたことがなかったので現地での生活にとっても興味があった。

3. 研修内容

3.1 Google の企業訪問

このプログラムでは、いくつかの企業訪問をした。そのうちシンガポールにある Google を企業訪問したことについて報告する。そこで現地の方々からプレゼンをしていただくことができた。私たちが訪問した Google は全世界で30億ユーザーが利用し、世界中でアクセスできる検索エンジン、オンライン広告などのインターネット関連のサービスに特化したテクノロジー企業である。年間109兆円の収入あり、その87パーセントが広告収入である。現在アジアでの収入は、年間16兆円で全体の15パーセントしかなくこれから、インドやインドネシアでこの5年の間に10億人のユーザーを増やす計画があることを知りアジア地域の重要性を感じたのであった。また、インドのある地方では1日50円で生活している人々が多く、その人たちがどのようにインターネットを利用するようになるのか興味深かった。Google の企業概念である『ユーザーのことを



写真1 Google での集合写真

第一に考えること、すべてはユーザーから始まる』は、世界中の情報が全世界の人々がアクセスできる環境になっているのだと改めて知るとともに、Google は全世界で必要不可欠な企業だと感じた。

3.2 ビジネスパーソンの方々との交流会・講演会

このプログラムの最後に行われたのは、シンガポールの日本人ビジネスパーソンとの交流会、主にASEAN 地域で起業されている加藤さんの講演会であった。まず、日本人ビジネスパーソンとの交流会では、4名の方からお話を聞くことができ、企業を作るとき自分が給料をもらえる仕組みを作ることが大切であることを知った。日本はビジネスの仕組みがたくさんあって競争が厳しいが、海外にはまだないものがたくさんありチャンスがたくさんあると感じたのである。次に、加藤さんの講演会について報告する。この講演で一番記憶に残った言葉は、『前向きなことを考えられる人と前向きに付き合う』である。今までの人生でいくつかの目標したときいつも前向きな人に協力してもらった時だったことでとても共感できたからである。環境が人間を作る、非凡な環境に育った人間にとっては非凡な環境が普通環境であるということ言葉に共感できた。自分も回りの環境に影響されて考えが変わっていると日々感じるからである。周りの環境が良ければ人は成長できると知ることができた。その環境に身を置いてこそ成功するチャンスがあると思った。今の日本では少子化が進み、2050年には200万もの企業が潰れてしまう。今、日本にある企業では飯が食えなくなるという言葉に危機感を感じた。ASEAN 地域はこれからの日本の社会変化とは異なり、成功するビ



写真2 講演会の様子

ジネスチャンスがあり、新しいことをすることが求められていると感じた。『ここからの10年間で自分にとって大事である』という言葉のように、行動するかしないかは自分次第だと思うので、何事にもチャレンジし、成功するチャンスを生かしたいと思った。

4. おわりに

このプログラムに参加して学んだことは、英語の大切さである。現地では、思ったよりも英語がうまく話せず、伝えたいことを全然伝えられなかった。海外では世界共通語の英語が重要で世界の人とつながる可能性を最も広げてくれる言語だと改めて感じた。今まで海外に行ったことがなく、現地の文化や生活に不安を感じていたが実際に行ってみて様々な文化や生活があることを知り、たくさんの人とつながりたいと思った。今後、海外に行くチャンスがあれば積極的に参加したい。自分の価値観が大きく変わるきっかけになり、これからの人生においても貴重な時間にする事ができ、大変貴重な経験ができました。今回のプログラムに参加できたことに心から感謝します。